



小中学校の体育館に太陽光パネルと蓄電池は必要だね。

井口亮一が問う

## 国からの補助制度、積極活用を

**Q** 国は昨年の大規模災害を踏まえ、「地域の防災・減災と低炭素化を同時に実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」を展開しているが目的は。

**A** 防災地域支援課長 地域防災計画や自治体との協定で避難施設等として位置づけられた公共施設に、太陽光発電設備や蓄電池等の設置を支援するものです。

**AQ** この事業を実施することができる対象施設はどれくらいあるか。  
**A** 防災地域支援課長 中学校体育館やみどりが丘小学校体育館をはじめ、指定避難所となっている町の14施設です。



太陽光発電設備と蓄電池の設置が期待されるみどりが丘小学校体育館。

その他の質問  
・武州いぶし互に町の支援は

**Q** 町の説明では国からの補助率が4分の3、また緊急対策事業債を活用すると充当率100%、交付税措置50%、町の負担は13%とのこと。自己資金なしで実現できるが、積極活用を決めて早期申請に踏み切っては。

**A** 防災地域支援課長 昨年9月の北海道胆振東部地震において、体育館の避難施設にあらかじめ設置された太陽光発電設備と蓄電池から電力が供給され、避難住民の生活支援、復旧に向けた早期の活動につながったとのこと。町内各施設に設置するかは、総合的に判断していきます。



課題山積み、縦割りで済ませてほしい。

山口勝士が問う

## 重要施策だからこそ庁内協力を

**Q** 学校再編の議論が進む中で、教育委員会だけでは、ほかの課はどんな心構えや協力ができるのか。「桁違いの少子化で仕方ないかもしれないが、学校がなくなる地域はどうなってしまうのか」という不安には、どの課がどう答えていき、それに伴う施策を考えていくのか。

**A** 学校教育課長 諮問にいたるまでには学校教育課だけでなく全庁的に協議を進めてきました。その過程の中で、各課を対象に学校再編に伴い影響が生じる事務・事業について調査を行ない、内容を学



1日も早い開設が待たれる北口側から見た小川町駅。

校教育課で把握するとともに、全課で共有しました。学校再編は町全体の将来像に関わる大きな施策であると捉えています。課題や影響については、学校教育課が担当事業の所管課と十分に連携を図るなど、町全体として検討・対応していきます。

### 駅北口政策の現状は

**Q** 駅前広場の整備や駅北口開設が進まないことは、当町の将来への不安にさえなっているが、現状は。

**A** 都市政策課長 駅北側整備事業、北口駅前広場整備については、町の重点事業と考え、埼玉県警や埼玉県教育局、小川高校との協議を行なっています。現在道路拡幅に必要な測量に基づく協議を行なっています。



町の活性化、人口減対策大変ですが全庁で取り組もう。

大戸久一が問う

## 遊休農地活用で町の活性化を

**Q** ボランティアの皆さんが、遊休農地を活用した花いっぱいによるまちづくりをしようとの活動をしている。この輪を広げ、町の活性化を図っては。

**A** にぎわい創出課長 現在、仙元山周辺「花のまちづくり事業」の一環として、埼玉伝統工芸会館周辺にポピーやぼさ菊などの栽培を、地域の協力のにより行なっています。この取り組みが近隣地域へ波及するよう努めていきます。

### 思い切った人口減対策は

**Q** とうとう人口3万人を割ってしまい、出生数99人になった。人口減に伴うさまざまな問題を抱える中、バランスのよい人口構成等にも大きな影響を及ぼしており、今後10年、20年先を考え、大胆な人口減対策を講じるべきでは。

**A** 政策推進課長 人口減対策は平成27年10月策定の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき事業を展開してきました。実施事業数や予算規模において「結婚・出産・子育て」の分野に特に力を注いできました。今後、総合戦略推進会議や議会の皆様との意見交換会、新たに設置した若者未来会議等で意見をいただきながら、第2期総合戦略を策定していきます。特に人口減対策は最重要課題ですので、さまざまな角度から検討していきます。



ボランティアによるぼさ菊周りの雑草取り。



Mini Column  
オガワマチのことギカイのこと  
一緒に見よう、考えよう  
「あなたの好きな町の名物料理」

スタジアムで食べる「大きいなりすし」。また持って出かけた。

(K・Oさん・55歳)

焼き鳥ではなく、豚かしら肉を使った「やきとり」。味噌だれて!

(H・Hさん・82歳)

老舗の天井と焼き鳥です。

(T・Tさん・30代)

料亭のおいなりさんと角にあるお店のかつ定食です。

(K・Tさん・60代)